

会報 第18号

2014年8月



赤煉瓦倶楽部半田会報

発行人：長谷川寛子会長

編集責任者：馬場信雄

〒475-0928 半田市桐ヶ丘3-11-13

(建築工房創風庵)

TEL/FAX:0569-21-5959

<http://www.akarenga-handa.jp>

E-mail: redbrickhanda@yahoo.co.jp

NEWS目次

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 半田赤レンガ建物の動き報告 | 6 平成25年度通常総会開催！！ |
| 2 工事前記録写真撮影会報告 | 7 はんだ蔵のまち端午の節句報告 |
| 3 平成26年新春合宿報告 | 今後の事業計画 |
| 4 はんだ蔵のまち桃の節句報告 | はんだ夏祭りへ出店 |
| 5 白モッコウバラフェスティバル報告 | 先進地事例見学会 |
| | 赤煉瓦ネットワーク全国大会他 |

■ NEWS 1

～ついに改修工事開始！！～ 半田赤レンガ建物の動き報告

ついに6月22日から改修工事が始まりました。これから来年春の開業に向け、着々と計画が進行していく予



定です。

そこで、直近の動きを少しお伝えしようと思います。

まず、3月に指定管理者が決定しました。JTBのグループ会社JTBプロモーションです。JTBグループ

が培ったノウハウを総動員し基本設計の目的に叶う運営がなされることを期待しています。もちろん倶楽部としても目的に叶う範囲である以上パートナーとして最大限に支援をしたいと思っています。

6月には改修工事の施工業者が決定しました。清水・七番特定建設工事共同体です。明治31年に清水建設の前身の清水組が半田赤レンガ建物の第一期工事を行いました。本家本元が施工してくれることに倶楽部としても大きな期待をしています。

7月4日、赤レンガ建物のハーフティンバー部で、安全祈願祭が執り行われました。住吉神社宮司のもと、半田市企画部長、JTBプロモーション、清水・七番特定建設工事共同体、そして赤煉瓦倶楽部半田が参列しました。当倶楽部からは馬場理事長、永田副理事長2名が参列し安全を祈願してきました。これから改修工事は来春に向け佳境に入っていきます・・・・・・・・・・。



全国的にも珍しい耐震化工事が行われる予定で、工事期間中に倶楽部員限定の現場見学会を計画したいと思います。ぜひご期待ください。(NB記)

■ NEWS 2

工事前記録写真撮影会実施！！

倶楽部として念願だった赤レンガ建物常時公開のための工事が始まりました。

冬は隙間風で凍るように寒く、夏は蒸し暑く蚊が襲う、薄汚れ埃っぽい建物内で、熱っぽく、この建物の行く末を語り合った倶楽部員たちの想いはどのように実現されるのでしょうか。



ハーフティンバー西棟

改修には多くの要素が絡むので、結果は楽しみに待つしかありませんが、わくわくする一方で、新しく一般受けする姿に生まれ変わって、大勢の来場者が溢れることになったとしても、そのためにこれまでの115年の歴史に想いを馳せることができなくなってしまっは元も子もありません。そこで当面の最低限の行動として最も変わる可能性のあるハーフティンバー棟について現状の記録写真を撮っておくことになりました。3月

29日に
第1回、5
月11日
に第2回
そして6
月14日



ハーフティンバー西棟二階・謎の小部屋に第3回を実施しました。特に第2回目は照明機材まで持ち込まれた倶楽部員の竹内 進さんの大活躍で、600枚に届くかという量の画像が取得されました。今後この大量の画像とこれまでに集録されている画像やデータの整理が倶楽部としての大仕事になります。



ハーフティンバー西棟二階・謎の小部屋

ページが格段にリニューアルされますので、できるならば工事経過を載せたいと考えています。工事完成後にご期待ください。(HK記)

改修には多くの要素が絡むので、結果は楽しみに待つしかありませんが、わくわくする一方で、

新しく一般受

なお、日本福祉大学の協力により倶楽部のホーム

■ NEWS 3

平成26年新春合宿報告

2月2日、恒例の新春合宿が成岩公民館で開催。参加者は24名。

まず冒頭に長谷川会長、続いて馬場理事長の挨拶があり、本題へと入って行きました。



第1部では、全体報告として馬場理事長より本年度4月～12月の総括・中間決算報告、続いて小林理事より全国大会の報告、

桑田氏より半田赤レンガ建物の空撮ビデオの披露。さらに現状の動き、今後の展開の部では市企画課より基本設計・パブリックコメントに関する説明がありました。

今後の倶楽部の進め方の部では、馬場理事長より、「倶楽部の基本的な方向性として、指定管理者にはならず、今までやってきた活動と同様、純粋に半田赤レンガ建物及び明治の旺盛な起業家精神を後世に引き継ぐ活動を進めていきたい。指定管理者に対してはパートナーとして倶楽部の目的に合致することに関しては積極的に協力していきたい。また今後の倶楽部の事業内容は調査研究を第一の事業として進めていきたい」との説明がありました。

続いて平成26年度事業計画案の提案があり検討を行いました。

約10分休憩の後、第2部として、

長谷川構造診断の長谷川先生よりテーマ「妻木頼黄の広島仮議院とは」の講演会がありました。

以上で合宿の本題はすべて終了。そして、参加者全員でレイアウト変更を行い、第3部新年交流会に入りました。

宮原副理事長挨拶、田中企画課主査乾杯で開宴。老若を忘れ夢を追いかける少年たちのようにあちこちで熱い議論が交わされていました。このままではお泊りになってしまう??宴たけなわではありましたが、永田副理事長の中締めにて今年の新春合宿を閉会といたしました。皆さんお疲れ様でした。

(NB記)



■NEWS 4

はんだ蔵のまち桃の節句報告

3月1日・2日・8日・9日の4日間、はんだ蔵のまち桃の節句が開催され、「建物の外へ出店して広報活動を進める」事業の第一弾として出店しました。



カブトビールの販売はもちろん、広報用のパネルを展示し建物・歴史のPRにつとめました。

幸い好天に恵まれ、

冷やしビールが好評でした。その中でおいしそうに飲んでいる美人で若い女性。声をかけてみると、これがなんと現役の京大生ではないですか。出身は北海道、親元を離れたかったという理由で京大に入ったとのこと。専門は設備設計とのこと、半田赤レンガ建物の説明をすると大変興味を示してくれました。そのあとスタッフの何人かは仕事もそっちのけで話の輪に加わりしばし年を忘れ青春？をしていました。赤レンガ建物内での公開とは全く雰囲気異なりますが、それでも今回の出店の効果はあったのではないかと考えています。(NB記)

■NEWS 5

白モッコウバラフェスティバル報告

4月26日・27日の二日間、萬三の白モッコウバラが半田市の天然記念物に指定されたことを機に、「白モ



ッコウバラ祭」が開催されました。半田市の春の新たな名所となるイベントに参加し、イベントブースの一角でカブトビール500本の限定販売

を行うことで、現在休館中となっている半田赤レンガ建物と赤煉瓦倶楽部半田の活動を半田に訪れる観光客および広く市民にPRを行いました。

今年は、半田赤レンガ建物もミツカン酢の里も



工事閉館中のためか、人も少し少なめでしたが、来年からはこの一角が半田市の観光の重要なポイントとなるため、萬三の白モッコウバラ祭が、半田を新たに盛り上げるきっかけとなることを祈念いたしております。

(KH記)

■NEWS 6

平成25年度通常総会開催！！

今年度のスタートとなる通常総会が4月29日、南知多ピアシティで開催されました。



いよいよ赤レンガ建物を取りまく環境も大きく変わりはじめ、これより倶楽部としても

新たなステージへ入っていくこととなります。総会でも議案上程いたしましたように大きな転換期と位置付け、目的や事業内容を見直し、改めて倶楽部員の意思統一をはかる場となりました。

また、来賓として藤本副市長はじめ市企画課の皆様と技術支援の谷川先生、構造診断の長谷川先生には総会、懇親会ともご参加をいただきまして、より中身の濃い会となりました。ご参加ありがとうございました。

南知多ピアシティといえば、復刻カブトビールの製造で大変お世話になっていることはご存知かと思えます。この度は、大嶋社長に半田までマイクロバスでの送迎、懇親会ではご挨拶もいただきながら南知多の美味しい料理をいただきまして至れり尽くせりのオモテナシでありました。もちろん、復刻カブトビールの製造所で飲むビールは格別として、この時ばかりに酒豪が勢ぞろい…？

何時になく大勢の出席者と和気藹々の時間を過ごすことが出来ました。

未来に繋ぐ語部として、



これまでも皆さんと一緒に楽しく活動してまいりました。倶楽部員の笑顔と赤レンガ建物の存在意義を噛み締めながら、ビールで乾杯・赤レンガにはせる思いは、やがて形となり観光振興や文化財保存といった下支えがこんなところにこそ有るんだぞと確信しています。

また指定管理会社などの運営を側面から支える倶楽部としても大いに活躍できる場となるでしょう。

本日は海をバックに(爽快)総会と懇親会と有意義な時間となりました。

これからもどうぞよろしく願い致します。(s記)

NEWS 7

はんだ蔵のまち端午の節句報告



5月3日～5日の三日間、蔵のまち端午の節句に出店しました。特に3日は天気にも恵まれ、名鉄ハイキングの終着駅近くということもあり冷やしカブトビールが一時飛ぶように売れました。また建物・カブトビールの歴史に関するパネル展示に興味を示される方も多く有意義な出店だったと思っています。(NB記)

今後の事業計画

(1) 8月23日(土) はんだ夏祭りへ出店

- ① 場所：蔵の街魚太郎駐車場
- ② 時間：16時～21時
- ③ 内容：はんだ盆踊りの日に生カブトビールを販売
- ④ スタッフ集合：12時現地

(2) NPO古材文化の会全国集会

- ① 日時：9月13日(土)～14日(日)
- ② 内容：検討中



(3) 先進地事例見学会

- ① 日時：2014年9月21日(日)
- ② 見学先：岡崎信用金庫資料館

設計者は半田赤レンガ建物増築部分を設計した鈴木禎次。

旧額田公会堂(重要文化財)

カクキュウ(八丁味噌・登録文化財)

- ③ 会費：1,000円

(3) 名鉄ハイキング

- ① 日時：9月28日(日)
- ② 時間：10時～16時(予定)
- ③ 内容：はんだクラシティーにてカブトビール販売

(5) 赤煉瓦ネットワーク全国(富岡)大会

- ① 日時：2014年11月8日(土)～9日(日)
- ② 開催地：群馬県富岡市
- ③ 日程：11/8 基調講演・活動報告・懇親会

11/9 見学会：

- i. 富岡製糸場
- ii. 碓氷峠アーチ橋、丸山変電所他

- ④ 会費：20,000円

※上記先進地事例見学会の申し込み期限(9月10日)、
全国大会申込期限(9月30日)、またいずれも申込先
は、090-8676-9021(馬場)、e-mail:wangel-brick@na.commufa.jp

■ 赤煉瓦倶楽部半田規約(抄)

[会の名称]

赤煉瓦倶楽部・半田

[目的]

- ・貴重な赤レンガ建物(旧カブトビール工場)及び明治の旺盛な起業家精神を後世に引き継ぐこと
- ・山車、蔵、南吉と並ぶ半田のシンボルとして、赤煉瓦建物を活かしたまちづくりを調査・研究すること
- ・赤煉瓦建物に関するネットワークと連携し、赤煉瓦建物を活かしたまちづくりを支援すること
- ・その他本会の目的を達するために必要な活動

[会費]

- (1) 入会金 1,000円
- (2) 年会費
 - ① 個人会員 1,000円
 - ② 法人・団体会員 10,000円(団体は10名以上)
 - ③ ボランティア会員 無料

[活動年度]

- ・毎年4月1日～翌年3月31日
- ・総会は、毎年1回開催する

[運営]

・当会の運営は理事会で行う。運営にあたり次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上
- (2) 監事 2人以上

理事のうち、一人を理事長、2人を副理事長とする。

■ 編集後記

いよいよ赤レンガ建物の改修工事が始まりました。当倶楽部は、これまでに必死に建物・カブトビールのブランド力向上に努めてきました。そして成果をあげてきました。今後も私たちの想い、建物の価値を広く伝えていくことで、何十年たっても愛され続ける施設であり続けると信じています。

赤煉瓦
AICHI
RED BRICK Co-op.

全愛知県赤煉瓦工業協同組合

〒447-0863 愛知県碧南市新川町3丁目85番地
TEL・FAX (0566) 41-1276
E-Mail : office@akarenga-aichi.or.jp
WWW : http://www.akarenga-aichi.or.jp

(広告募集)

当倶楽部のホームページや機関紙に広告を掲載していただける企業や団体を募集しています。

1 枠 年間 5,000 円

集まったお金はホームページの管理費や機関紙の発行費用に充てます。